

西学園だより

雲南市立認定こども園西こども園
雲南市立西小学校

【文責 表面 梅木 裏面 小田】

例年よりも早い梅雨入りとなりましたが、その合間をぬって天気の良い日にはいわくまの森に子どもの元気な声が響き渡っています。その一方で子どもたちが学習で世話をしている野菜もすくすくと成長しています。2年生教室の前には、子どもたちが毎朝水やりなどの世話を欠かさずに行っているミニトマトの絵が並んでいます。子どもたちの植物に対する親しみが伝わってくるほほえましい絵です。7月8日には学習公開を予定しています。新型コロナウイルス感染症対策のため変則的な形での公開となりますが、4月以来の子どもたちの様子をご覧ください。



人とのかかわりの中で - 西小(ふるさと)大好き -

1年生はサツマイモを育てています。6月2日に地域講師の武田久男さんの指導を受けながら苗植えをしました。「お～、上手に植えたな～」「うまい、うまい」などとほめてもらいながら、誇らしげに作業をしている姿が印象的でした。

6月3日には、わくわく学級・にこにこ学級・すくすく学級の子どもたちが笹巻作りに挑戦しました。団子を笹で巻く作業はなかなか大変でしたが、4人の地域講師の皆さんの協力を得ながら一つ一ついいいに仕上げることができました。最後には、「家に帰って作ってみたいです」「家でも手伝いたいです」などと頼もしい感想を聞くことができました。

ここで紹介したほかにも、放課後の見守り、読書ボランティア、学習での地域講師など多くの人に見守られ、いろいろな言葉をかけてもらっています。子どもたちはたくさんの人とのかかわりの中で、いろいろなことを学び、一つずつ自信をつけて成長していています。今後も西小(ふるさと)大好きにつながる学習を大切にしていきたいと考えています。



話をよく聞いて植えました



一つ一ついいいに

走り抜いた校内ロードレース大会 - 自分大好き・なかま大好き -

5月26日(水)に行った第1回校内ロードレース大会では、たくさんの保護者の方に出かけていただきありがとうございました。がんばれと温かな声援を多くかけていただいたことは、子どもたちにとって走るエネルギーにつながったと思います。走る前に子どもたちに、ロードレースに取り組んできた自分、挑戦する自分を大好きになってほしいこと、がんばる友達を応援することでなかまを大好きになってほしいことを話しました。坂道を登り切ってゴールを駆け抜けることは苦しいことだったと思います。しかしそれ乗り越えようとする子どもたちの姿勢は素晴らしいものでしました。

今回のロードレースでは3年生男・女、4年生女子、5年生男子で新記録が出ました。秋のロードレース大会に向けて体力を向上させていってほしいと願っています。



苦しくても最後まで走り抜きました